



特定非営利活動法人APEXは、1987年の設立以来、インドネシアを主な活動地域として、現地のNGOと協力しつつ、排水処理、バイオマスエネルギー開発、職業訓練などの事業を実施してきました。活動を行うにあたっては、それぞれの地域の状況に適し、環境にも負担をかけない「適正技術」を重視して、現場性のある提案をつくり出すように努力しています。国内では、アジアや環境問題等に関する公開のセミナー、適正技術人材育成研修、「開発とNGO」研究会、スタディツアーなどを主催しています。

適正技術と代替社会

～インドネシアでの実践から～

〈適正技術〉は、通常、先進国の技術を条件の異なる途上国に単純に移転するような試みが失敗してきた反省をふまえて、現地の社会的・経済的あるいは文化的条件に適合的で、人々が参加しやすく、そこにおけるニーズを効果的に満たす技術を指します。

しかし、この言葉には、当初から、環境・資源や労働疎外の問題など、近代科学技術のもたらすさまざまな問題を解決・緩和していく技術という意味もこめられていました。

そのような二つの意味を併せ持った適正技術は、世界人口の大多数を占める途上国の人々の立場に立ち、近代技術がもたらしているさまざまな問題も乗り越えていくものとして、まさにこれからの世界に必要とされる、今日的意義をもった技術といえます。

APEXでは、インドネシアなどにおいて、排水処理やバイオマスエネルギー開発等の分野で、適正技術の開発・普及に長年取り組んできました。今回のセミナーでは、それらの経験をふまえて、上のような含意をもった適正技術の意義や、その開発・普及をいかに進めていくかを考えます。

参考文献：田中 直著『適正技術と代替社会—インドネシアでの実践から』岩波新書、2012年



講師プロフィール 田中 直 (たなか なお)

特定非営利活動法人APEX代表理事。1951年生まれ。東京大学工学部卒業後、石油会社で石油精製プロセス管理、廃プラスチック再生、バイオテクノロジー、排水処理などの業務に従事する一方、1987年の設立当初からAPEX代表を務め、1999年より専従(代表)となる。理学博士。

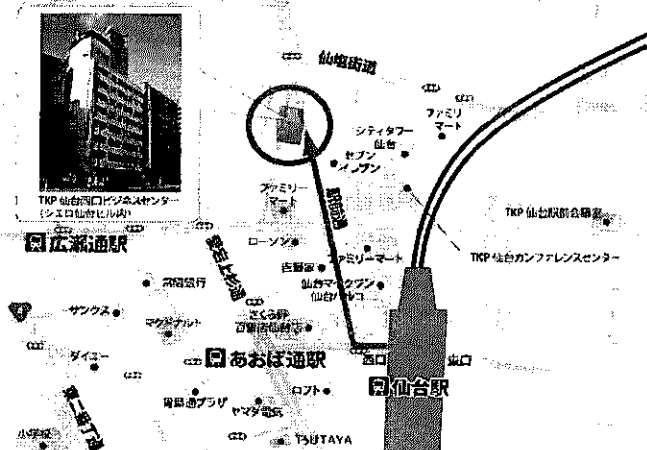
著書：上記参考文献、編著書『転換期の技術者たち』、『第三世界の問題を考える』(以上勁草書房)、『エネルギー問題—工業化社会の自然と労働』(社会評論社)、『暮らしと技術を変える』(亜紀書房)他。訳書『バイオテクノロジーと第三世界』(勁草書房)

日時	2013年11月2日(土) 15:00～17:30 (14:30受付開始)
会場	TKP仙台西口ビジネスセンター 6B会議室 (シエロ仙台ビル 6F)
参加費	APEX会員：300円 非会員：800円 ※定員36名
お申し込み	下記サイト、またはAPEX事務所(左記)までお申し込み下さい http://www.apex-ngo.org/kokunai/semitouhoku.html

会場のご案内

【アクセス】
 仙台駅西口 徒歩5分
 地下鉄南北線「広瀬通」徒歩6分
 JR仙石線「あおば通」徒歩6分

TKP仙台西口ビジネスセンター
 住所：仙台市青葉区本町1-5-31
 シエロ仙台ビル
 TEL：022-397-8521
 022-714-8101



主催・お問合せ・お申込み

特定非営利活動法人APEX

〒110-0003
 東京都台東区根岸1-5-12 井上ビル
 TEL：03-3875-9286
 FAX：03-3875-9306
 E-mail: tokyo-office@apex-ngo.org
 URL: <http://www.apex-ngo.org>
 詳細・申込フォーム
<http://www.apex-ngo.org/kokunai/semitouhoku.html>